



のう じ でん そう 農 時 電 送

秋まき小麦 止葉期の追肥について

5/15の定期作況での茎数は1,001本/m²と平年の1,306本/m²と比べ、やや少ないですが、生育はほぼ平年並で止葉期は5月末頃（平年5/29）に到達する見込みです。

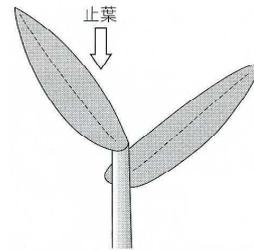
止葉期頃の追肥は、子実の充実とタンパクの向上につながります。特に「きたほなみ」は生育後半の追肥が効果的です。ほ場の茎数・葉色等を確認し、適期に追肥を行きましょう。

幼穂形成期の追肥を遅らせたほ場では、出穂期までに追肥しましょう。

ジシアン（Dd）、サミットコートなどの肥効調節型肥料で追肥を行っている場合も、ほ場の茎数・葉色等を確認し、止葉期頃の追肥を検討して下さい。

☆まずは止葉期を確認！

止葉期：止葉が完全に展開した茎が、
全茎の40～50%になった日



☆きたほなみの窒素施肥体系

起生期の茎数 (m ² あたり本数)		800本以下	800～1,300本	1,300本以上
施窒 肥素 量	起生期	8 kg/10a	6 kg/10a	4 kg/10a
	幼穂形成期	4 kg/10a	4 kg/10a	4 kg/10a
	止葉期	4 kg/10a	4 kg/10a	4 kg/10a

★硫安1袋(20kg)＝窒素約4kg

○●安全第一で農作業を行きましょう！！●○